

エコ育広場 2013

～報告書～

=開催趣旨=

「エコ育広場」は、エコな気持ちを育てると同時に、エコを伝える人が育ち合い、エコな気持ちを育み合う輪を広げていくことを目的にしています。

個人、市民団体、企業、行政などが個々にエコ活動を行うだけでなく、それぞれの課題や成果を共有し、ともに育ち合っていくことで、地域や社会全体での活動がよりいっそう効果的なものになります。

そのために、私たちは、エコを伝える人たちが、今後の活動企画や指導、解説の方法に対するヒントを得るための場として「エコ育広場」を開催します。

開催日：2013年4月13日（土）

会場：札幌エルプラザ2階



Designed by Hokkaido Information University, Mina Sasajima

=エコ育広場2013の開催を終えて=

今回は、149名の来場者にお越しいただきました（この他に、8団体出展者、ボランティア、実行委員の計38名が参加。総計187名）。環境プラザの展示コーナーと隣接する交流広場を併せて会場として使用したことで、壁の無いオープンなレイアウトとなり、一体感を生み出すことができました。また、このことは、環境プラザの既存展示物も同時に楽しんでいただく機会の提供ともなり、終日にぎわいを感じられる雰囲気となりました。

開催にあたっては、有志による実行委員会の立ち上げが遅れたことで、出展者募集のお知らせが開催間際となり、「今年の開催はあるのか？」というご心配やご迷惑をおかけしてしまいました。しかし、出展者、ボランティア、後援者の皆さまの知恵や力の「持ち寄り」で、準備を進め、無事に実施することができました。お礼とお詫びを申しあげます。ありがとうございました。

今回の反省を踏まえて、今回は、計画的に進行すべく、まずは、2014年4月12日（土）に開催することを、仮決定いたしました。交流パーティーでいただいたご意見も生かしていけるよう、新たな気持ちで、準備を進めていきたいと思っています。

エコ育広場実行委員長 丸山 博子

=当日のながれ=

- 9:30 出展者受付開始
- 10:00 出展者ミーティング
- 10:30 エコ育広場開場！
- 15:00 エコ育広場閉場
- 16:00 交流パーティー
- 17:00 終了

出展団体の顔合わせと全体の進行を確認しました！

オープンなレイアウトで一体感が生み出されました！

みんなでお茶を飲みながら、今回のエコ育広場を振り返りました。



交流広場の様子



展示コーナーの様子



出展者ミーティング



交流パーティ

今年は少し形を変えて、エレベーター前から環境プラザの展示室までのスペースに8団体が出展し、一体感のある開催になりました！

イタドリで笛をつくろう



どんなことをやったの？

滝野で採れたイタドリという植物を使ったフルーツ作りを実施しました。通常は、材料をカットする所から行いますが、今回は出張ということでカット済の材料を組み立てる方法にアレンジ！ド～ソまでの音階付のものを制作しました。

活動を通してどんなことを得た？

TP0に合わせてプログラムを修正することでスムーズに対応できるようになりました。音のなるものは興味を引きやすいことがわかりました。開園4年目にして滝野の森を知ってくれる人・来たことがある人が増えていることを実感！

滝野の森クラブ

木っばのクラフト



どんなことをやったの？

ダンボールの台紙に木っばや木の実を使って、各自それぞれ自由に思った物を表現してもらいました。材料は公園の木や木の実を利用しました。参加者の思いが少しでも詳細に表現できるように、木っばの形や木の実、枝の大小などスタッフ一同努力しました。

活動を通してどんなことを得た？

大人子ども合わせて約60名の方に利用、楽しんで頂き、良かったと思っています。子ども達の自由な発想で、ユニークな作品が沢山できたと思います。また、西岡公園の事や、公園の木のリサイクルに関心をもってもらうきっかけになったと思います。

西岡公園 森の工作

二酸化炭素はどんなもの？



どんなことをやったの？

長机を挟み来場者と対話しながら、重曹と食酢からのCO₂生成、CO₂が水によく溶けることや水溶液が酸性になることを来場者自ら実験しました。その性質と実生活や地球温暖化との関係について一緒に考察、理解を図りました。

活動を通してどんなことを得た？

普段の生活での現象とCO₂との関わりを気付いてもらいながら、その性質を、実体験から確認し、地球温暖化との関わりを理解につなげることができました。実験をすること、考察し分かる喜びや楽しさを伝えられました。

環境学習フォーラム北海道

どんぐりでクラフト



どんなことをやったの？

どんぐり、トチの実、小枝や木の輪切りなど使用し、やじろペーやコマ、不思議なものなどを作ったりと、子ども達の意外な発想で、意外な方法で、そして意外な作品を作っていた子どももいました。また、スタッフも負けじとトトロや小鳥など作り、自慢しました。

活動を通してどんなことを得た？

子ども達が真剣になって、何かに打ち込んでいる姿が良かったです。また、これを機に、公園や山などに行って、どんぐりやトチの実を拾いに行くと同時に、沢山の木々や草花などに触れ、自然の魅力や大切さを知ってくれたらと思います。

鳥のくちばしゲーム



どんなことをやったの？

鳥の食べ物とくちばしの形に着目した環境プラザオリジナルプログラムを実施しました。23種類の鳥のイラストシールから9種類を選んで進めていくビンゴゲームです。

活動を通してどんなことを得た？

小さい子どもから大人までが夢中になってゲームに参加しており、生きものやその生態に興味を持つきっかけづくりとして有効であることがわかりました。集会事業で多くの来場者に体験してもらうために、プログラムの進め方や補助教材の工夫が必要であると感じました。

札幌市環境プラザ

リサイクル



どんなことをやったの？

タッチパネルのモニターを用いて、リサイクルされる前の資源物を捕るクレーンゲームで遊んでいただきました。見事キャッチできた資源物は、モニター内でリサイクルマシンに投入され、リサイクル後の製品に変身して登場。どんなものにもリサイクルされるかを紹介しました。

活動を通してどんなことを得た？

どのようなものにもリサイクルされるかを知ってもらうには、ただイラストを見せるだけでなく実物に触れたり見てもらうことが効果的であることを実感。ゲームも楽しんでもらいましたが、もう少し考えたり手を動かすような体験プログラムも必要だと感じました。

株式会社 マテック

プレーパーク de エコ遊び



どんなことをやったの？

風船に漏斗で小麦粉を詰めて口を結わえたあと、顔を描き髪の毛をつけて、「ボクのわたしのともだち」を作りました。「風船は、膨らますものとは限らない」と悟った子どもがいたかどうか知りませんが（笑）、不思議な感触を楽しみ、ニギニギしていました。

活動を通してどんなことを得た？

子どもがともだちを作る間に、展示したプレーパーク関係のパネルや資料を親や引率者に見てもらいながらプレーパークの紹介をしたり、遊び場事情などをおしゃべりの中から知ることができました。

あそびばネット北海道さっぽろ有志の会

ちきゅうおんだんかふせぎたい



どんなことをやったの？

2012年度、新しく作成またはリニューアルした「水」「電気」「食べ物」に関する4種類のゲームを実施しました。

それぞれのゲームにはメッセージが込められています。参加者のみなさんに楽しんでもらいながら、そのメッセージを伝えていきました。

活動を通してどんなことを得た？

家族での参加者が多く、幅広い年齢層（幼児から大人）の方に挑戦してもらえたので、参加者のみなさんから「こんなエコなことをしている」という色々な視点での話を聞く事ができ、また新しく作成したゲームの改善点を見つけることができました。今後の活動の参考にしていきます！！

公益財団法人北海道環境財団(地球温暖化ふせぎ隊)



今年の来場者は149名。

出展者(8団体)・実行委員・ボランティアは38名。

総計187名でした！



ボランティアに参加してとても楽しかったです。スタッフの皆さんが優しくいろいろな勉強になりました。来年も参加したいです。)

◆交流パーティ報告◆

今年の交流パーティは、おいしい軽食を食べながら、「今日の感想は?」「来年はどんなことしたい?」「みんなに宣伝したいことは?」などなど、話題を変えながら、色々なお話をしました。

☆こんな感想・アイデアが出ました!

- ・開催スペースはオープンな雰囲気、今までで一番良かった!
- ・開催時期がとてもよかった!
- ・ブース来場者がごった返す時間があるので、ヘルプ要員がいると助かる!
- ・ブース参加団体が、ヘルプ!を出した時に対応できる「コンシェルジュ」がいると便利!
- ・実行委員は、事前準備の負担が少なく、省エネで運営できた!
- ・前回までは、混雑するブースや空いているブースがあって、手持無沙汰の時間帯もあったが、今回は人の流れがスムーズでとてもよかった。
- ・弁当持参で長時間滞在する参加者が多かった。
- ・1人1人にじっくり関わる場面が良かった。

◆来場者の声◆

受付横には、今年もメッセージボードが登場!来場された皆様に、エコ育広場の感想を書いてもらいました。

☆こんな感想が届きました!

- ・わかりやすく、おもしろかったです。
- ・ここに初めてきて、ゲームや工作をして勉強になったから、また来たいと思いました。
- ・子どもと一緒に楽しむことができました。また参加したいです。
- ・いろいろ作れて楽しかったです。



◆環境プラザより◆

「エコ育広場2013」に参加していただき、誠にありがとうございました。また、実行委員として関わってくださった皆さまにも、感謝しております。年度初めにもかかわらず、環境関連団体が一堂に会し、お互いの顔を見ながら事業を実施できたことは、大変有意義なことと思っております。さらに、環境関連団体の皆様が、「エコ育広場」を通して、それぞれの活動を広く市民に伝えることが出来たことも、うれしく思います。これを機に、いつもと違うフィールドとして環境プラザを使っていただくなど、それぞれのアウトリーチのひとつとして、選択肢に加えていただき、団体のPR活動などにも利用していただければ、ありがたいです。今後とも、皆様とよりよい関係が続くことを願っております。

環境プラザ 寺田 実

◆主催・共催・後援

[主催] エコ育広場実行委員会・札幌市環境プラザ(指定管理者(公財)さっぽろ青少年女性活動協会)

[後援] 札幌市・札幌市教育委員会・(公財)北海道環境財団・環境省北海道環境パートナーシップオフィス

◆エコ育広場実行委員会

[実行委員長] 丸山 博子 (丸山環境教育事務所)

[実行委員] 岡崎 朱実 (NPO 法人環境活動コンソーシアムえこらぼ) 新保 留美子 (NPO 法人ひまわりの種の会)

金 由貴子 (公財) 札幌市公園緑化協会 [監査] 今井 健太 (SPAC 滝野管理センター)

[ボランティア] 蔭 昶琦

[連絡先] 〒060-0031 札幌市中央区北1条東2丁目5-12 ビーンズコート 803号 丸山環境教育事務所内

e-mail:ecoiku.hiroba@gmail.com tel&fax: 011-272-6284